別紙１

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし

2. 重要な会計方針
(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、取得価格により処理
(2) 固定資産の減価償却の方法
減価償却資産（時の経過または使用によりその価値が減少するもの）
及び無形固定資産（ソフトウェア等）は定額法により処理
(3) 引当金の計上基準
７月に支給する賞与について、算定期間（１０月～翌年３月）に相当する金額を計上する。

3. 重要な会計方針の変更
該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度
独立行政法人福祉医療機構　社会福祉施設職員等退職手当共済制度
北九州市民間社会福祉施設等従事職員共済
宮崎県民間社会福祉施設等従事職員共済

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分
当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。
（１）法人全体の財務諸表（第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式）
（２）事業区分は社会福祉事業のみである
（３）拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
（４）各拠点財務諸表（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
（５）拠点区分資金収支明細書（別紙３(⑩)）
（６）拠点区分事業活動明細書（別紙３(⑪)）
（７）各拠点区分におけるサービス区分の内容

0000　社会福祉法人善興会
1000　社会福祉事業
1100　善興園　拠点区分
1110　法人本部　サービス区分
1120　特別養護老人ホーム花の王善興園　サービス区分
1130　善興園デイサービスセンター　サービス区分
1200　第二善興園　拠点区分
1210　特別養護老人ホーム第二善興園　サービス区分
1220　第二善興園短期入所生活介護　サービス区分
1230　第二善興園デイサービスセンター　サービス区分
1240　ケアプランセンター・ゴクラク　サービス区分
1300　第三善興園　拠点区分
1310　特別養護老人ホーム第三善興園　サービス区分
1320　第三善興園短期入所生活介護　サービス区分
1800　北郷荘　拠点区分
1810　障害者支援施設北郷荘　サービス区分
1850　グループホーム杉の湯荘　サービス区分

6. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位:円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	468,631,340	0	0	468,631,340
建物	2,067,488,964	0	91,868,065	1,975,620,899
合計	2,536,120,304	0	91,868,065	2,444,252,239

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

8. 担保に供している資産
担保に供している資産は以下のとおりである。

北郷荘	土地	35,372,211
	建物	377,702,251
合　計		413,074,462

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

１年以内返済予定設備資金入金	
北郷荘	14,440,000
合　計	14,440,000

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位:円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	
基本財産				
建物	5,360,002,019	3,384,381,120	1,975,620,899	
小計	5,360,002,019	3,384,381,120	1,975,620,899	
その他の固定資産				
建物	211,323,839	92,648,190	118,418,510	売却 257,139 円
構築物	111,008,901	104,328,592	6,680,309	
機械及び装置	479,321,944	312,563,470	166,758,474	
車輌運搬具	92,052,807	82,887,451	9,165,353	除却 3 円
器具及び備品	644,778,159	498,034,014	146,724,666	除却 19,479 円
有形リース資産	3,024,000	3,024,000	0	
小計	1,541,509,650	1,093,485,717	447,747,312	
合計	6,901,511,669	4,477,866,837	2,423,368,211	

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位:円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	191,547,571	0	191,547,571
合計	191,547,571	0	191,547,571

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

FFG証券（外国公社債）

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受けが行われた場合の注記を記載する。

該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

別紙２

計算書類に対する注記（(拠点)善興園拠点区分用）

1. 重要な会計方針
（1）有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、取得価格により処理
（2）固定資産の減価償却の方法
減価償却資産（時の経過または使用によりその価値が減少するもの）
及び無形固定資産（ソフトウェア等）は定額法により処理
（3）引当金の計上基準
７月に支給する賞与について、算定期間（１０月～翌年３月）に相当する金額を計上する。

2. 重要な会計方針の変更
該当なし

3. 採用する退職給付制度
独立行政法人福祉医療機構　社会福祉施設職員等退職手当共済制度
北九州市民間社会福祉施設等従事職員共済

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分
当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。
（１）事業区分は社会福祉事業のみである
（２）拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
（３）各拠点財務諸表（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
（４）拠点区分資金収支明細書（別紙３(⑩)）
（５）拠点区分事業活動明細書（別紙３(⑪)）
（６）拠点区分におけるサービス区分の内容

1000　社会福祉事業
1100　善興園　拠点区分
1110　法人本部　サービス区分
1120　特別養護老人ホーム花の王善興園　サービス区分
1130　善興園デイサービスセンター　サービス区分

5. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位:円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	228,586,000	0	0	228,586,000
建物	1,056,031,228	0	38,958,049	1,017,073,179
合計	1,284,617,228	0	38,958,049	1,245,659,179

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

7. 担保に供している資産
該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位:円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	
基本財産				
建物	2,071,672,845	1,054,599,666	1,017,073,179	
小計	2,071,672,845	1,054,599,666	1,017,073,179	
その他の固定資産				
建物	10,164,027	8,940,886	966,002	売却　257,139 円
構築物	26,000,000	24,483,333	1,516,667	
機械及び装置	467,263,520	302,577,333	164,686,187	
車輌運搬具	30,609,489	28,007,271	2,602,217	除却　1 円
器具及び備品	227,480,898	192,973,051	34,507,823	除却　24 円
小計	761,517,934	556,981,874	204,278,896	
合計	2,833,190,779	1,611,581,540	1,221,352,075	

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位:円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	78,095,791	0	78,095,791
合計	78,095,791	0	78,095,791

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

別紙２

計算書類に対する注記（(拠点)第二善興園拠点区分用）

1. 重要な会計方針
（1）有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、取得価格により処理
（2）固定資産の減価償却の方法
減価償却資産（時の経過または使用によりその価値が減少するもの）
及び無形固定資産（ソフトウェア等）は定額法により処理
（3）引当金の計上基準
７月に支給する賞与について、算定期間（１０月～翌年３月）に相当する金額を計上する。

2. 重要な会計方針の変更
該当なし

3. 採用する退職給付制度
独立行政法人福祉医療機構　社会福祉施設職員等退職手当共済制度
北九州市民間社会福祉施設等従事職員共済

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分
当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。
（１）事業区分は社会福祉事業のみである
（２）拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
（３）各拠点財務諸表（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
（４）拠点区分資金収支明細書（別紙３(⑩)）
（５）拠点区分事業活動明細書（別紙３(⑪)）
（６）拠点区分におけるサービス区分の内容

1000　社会福祉事業
1200　第二善興園　拠点区分
1210　特別養護老人ホーム第二善興園　サービス区分
1220　第二善興園短期入所生活介護　サービス区分
1230　第二善興園デイサービスセンター　サービス区分
1240　ケアプランセンター・ゴクラク　サービス区分

5. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位:円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	59,411,883	0	0	59,411,883
建物	97,101,326	0	6,950,416	90,150,910
合計	156,513,209	0	6,950,416	149,562,793

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

7. 担保に供している資産
該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位:円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	486,562,329	396,411,419	90,150,910
小計	486,562,329	396,411,419	90,150,910
その他の固定資産			
建物	4,113,851	3,408,538	705,313
構築物		0	0
機械及び装置		0	0
車輌運搬具	6,174,590	3,995,078	2,179,512
器具及び備品	1,236,941	1,051,403	185,538
小計	11,525,382	8,455,019	3,070,363
合計	498,087,711	404,866,438	93,221,273

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位:円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	4,737,710	0	4,737,710
合計	4,737,710	0	4,737,710

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

別紙２

計算書類に対する注記（(拠点)第三善興園拠点区分用）

1. 重要な会計方針
（1）有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、取得価格により処理
（2）固定資産の減価償却の方法
減価償却資産（時の経過または使用によりその価値が減少するもの）
及び無形固定資産（ソフトウェア等）は定額法により処理
（3）引当金の計上基準
７月に支給する賞与について、算定期間（１０月～翌年３月）に相当する金額を計上する。

2. 重要な会計方針の変更
該当なし

3. 採用する退職給付制度
独立行政法人福祉医療機構　社会福祉施設職員等退職手当共済制度
北九州市民間社会福祉施設等従事職員共済

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分
当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。
（１）事業区分は社会福祉事業のみである
（２）拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
（３）各拠点財務諸表（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
（４）拠点区分資金収支明細書（別紙３(⑩)）
（５）拠点区分事業活動明細書（別紙３(⑪)）
（６）拠点区分におけるサービス区分の内容
1000　社会福祉事業
1300　第三善興園　拠点区分
1310　特別養護老人ホーム第三善興園　　サービス区分
1320　第三善興園短期入所生活介護　　サービス区分

5. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位:円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	75,261,246	0	0	75,261,246
建物	447,822,101	0	23,715,390	424,106,711
合計	523,083,347	0	23,715,390	499,367,957

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

7. 担保に供している資産
該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位:円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	
基本財産				
建物	1,514,331,010	1,090,224,299	424,106,711	
小計	1,514,331,010	1,090,224,299	424,106,711	
その他の固定資産				
建物	117,931,111	49,174,286	68,756,825	
構築物	11,419,256	10,715,584	703,672	
機械及び装置	12,058,424	9,986,137	2,072,287	
車輌運搬具	20,414,214	18,051,316	2,362,897	除却　1　円
器具及び備品	297,297,096	203,951,272	93,326,390	除却　19,434　円
有形リース資産	3,024,000	3,024,000	0	
小計	462,144,101	294,902,595	167,222,071	
合計	1,976,475,111	1,385,126,894	591,328,782	

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位:円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	68,767,382	0	68,767,382

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

別紙２

計算書類に対する注記（(拠点)北郷荘拠点区分用）

1. 重要な会計方針
（1）有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、取得価格により処理
（2）固定資産の減価償却の方法
減価償却資産（時の経過または使用によりその価値が減少するもの）
及び無形固定資産（ソフトウェア等）は定額法により処理
（3）引当金の計上基準
７月に支給する賞与について、算定期間（１０月～翌年３月）に相当する金額を計上する。

2. 重要な会計方針の変更
該当なし

3. 採用する退職給付制度
独立行政法人福祉医療機構　社会福祉施設職員等退職手当共済制度
北九州市民間社会福祉施設等従事職員共済

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分
当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。
（１）事業区分は社会福祉事業のみである
（２）拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
（３）各拠点財務諸表（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
（４）拠点区分資金収支明細書（別紙３(⑩)）
（５）拠点区分事業活動明細書（別紙３(⑪)）
（６）拠点区分におけるサービス区分の内容
1000　社会福祉事業
1800　北郷荘　拠点区分
1810　障害者支援施設北郷荘　　サービス区分
1850　グループホーム杉の湯荘　　サービス区分

5. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位:円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	105,372,211	0	0	105,372,211
建物	466,534,309	0	22,244,210	444,290,099
合計	571,906,520	0	22,244,210	549,662,310

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

7. 担保に供している資産

施設・北郷荘 土地	35,372,211
建物	377,702,251
合　計	413,074,462

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

１年以内返済予定設備資金入金	
北郷荘	14,440,000
合　計	14,440,000

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位:円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	
基本財産				
建物	1,287,435,835	843,145,736	444,290,099	
小計	1,287,435,835	843,145,736	444,290,099	
その他の固定資産				
建物	79,114,850	31,124,480	47,990,370	
構築物	73,589,645	69,129,675	4,459,970	
車輌運搬具	34,854,514	32,833,786	2,020,727	除却　1　円
器具及び備品	118,763,224	100,058,288	18,704,915	除却　21　円
小計	306,322,233	233,146,229	73,175,982	
合計	1,593,758,068	1,076,291,965	517,466,081	

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位:円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	39,946,688	0	39,946,688
合計	39,946,688	0	39,946,688

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし